





(実施年月日) 2022年 5月28日(土曜日)	(参加人員予定数) 参加人員 30名 スタッフ 6名	(参加費) 1名 / 1,000円 資料代・保険代・他
--------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------

**集合場所** JR横須賀線・田浦駅改札口にお越しください

**スタート時間** AM10時00分 (受付は9時30分)

(行程内容)	
9:30～10:00	田浦駅改札口を出たところで受付開始
10:00～10:10	駅前でもオリエンテーション 
10:25～10:35	のの字橋下の田浦一丁目公園でウォーミングアップ
10:40～11:10	おった坂上から十三峠(峰縦走)
11:35～12:30	三浦按針墓がある県立塚山公園で横須賀港を眺め昼食 
13:00～13:30	東逸見町から稲荷山子育て地藏尊經由汐入駅前 
13:45～14:15	汐入の緑ヶ丘女子高・聖ヨゼフ病院横を抜けうぐいす坂へ
14:25～14:40	中里神社でクールダウン
14:50頃	横須賀中央駅まで案内して解散 

**浦賀道(うらがみち)**

**のの字橋** : 地元の人々が呼ぶ「ののじ坂」に架かる橋で坂と立体交差するところが「の」の字になっていることからそう呼ばれる。正式には「十三峠陸橋」の名称が付いている。戦前に城の砲台を築く為に物資を運ぶ道路であった。はじめは木製であったという、このループは直径が40mぐらいで輪の中を公園とした。

**おったざか(大田坂)** : 浦賀道の最難所でもある急な坂道です。現在はつづら折りの階段になっているが、途中で何回も休まなければ登れない、当時の人は足場が悪く急なこの坂をよく上ったものだ。

**十三峠** : この浦賀道も現在では自動車を通る舗装された道に変わったが、昔は険しい処で上り下りする旅人や村人達にとって非常につらい山道であった。現在はランドマークタワー・東京湾・千葉の臨海工業地帯の工場群が眺望できる。

**三浦按針夫妻の墓(安針塚)** : 本名はウィリアム・アダムス オランダ東印度会社の水先案内人で太平洋を広告中に大風にあたり、九州に流れ着いた。後に徳川家康の信任を得て外交顧問となった。この墓は按針と妻を弔うもので、遺言によりこの地に建てられたと伝わる。

**鹿島神社** : 応永十七年(1410)三浦遠江守が常陸より鹿島神社を勧請したと言われる。寛永十三年に三浦按針の子が社殿を造営した旨の棟札が存在した。明治期に社殿は焼失したがその後現在地に遷座した。この地がウィリアム・アダムズ(三浦按針)が住んでいた屋敷跡と伝わっている。

**うぐいす坂** : この辺りは鬱蒼とした木々に覆われ、鶯の音が絶えないのでこう呼ばれた。この坂上には咸臨丸が渡米した時の副艦長格(浜口秀幹)が幕末から明治にかけて住んでおり、花に包まれた竹まいだったことから、花屋敷と言われた。

(中止の場合)  
前日 の夕刻 に参加者に電話連絡する  
**中止の振替日は6月25日(土)です**

(服装・履物・持参品)  
マスク・ハイキングの服装(雨天時の傘・レインコート)・歩きやすい靴・消毒用アルコール等(持ち歩き用)  
健康保険証 ・名札(緊急連絡先付)・飲み物(お茶やコーヒー等のカフェイン含有飲料は避ける事)  
**お弁当** 今行程での昼食は塚山公園でお弁当を食べて頂きます、シート等の敷物をご用意ください。

(行程上のお願いと注意点)  
★ 田浦駅集合場所で参加費のお支払いをお願い致します。  
★ 飲料水は多めに持って、のどが渇く前に定期的にとって下さい。  
★ 道幅が狭い処では、車両の通行で危険です、スタッフの指示に必ず従って下さい。  
又特に今回はトイレ箇所が少ないため指定された処で必ずお済ませ下さい。

※ 前回配布した「新型コロナに於ける定例活動時のお願い」を守ってご参加ください。

**お問い合わせ連絡先** 富岡 秀二  
e-mail : hideteru71166@yahoo.co.jp  
TEL/FAX : 045-904-0230  
携帯 : 090-9300-3562